



TITLE:

編集後記 (泌尿器科紀要 第46巻第7号)

AUTHOR(S):

CITATION:

編集後記 (泌尿器科紀要 第46巻第7号). 泌尿器科紀要 2000, 46(7): 524-524

ISSUE DATE:

2000-07

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/114306>

RIGHT:

4. 論文の訂正：査読審査の結果、原稿の訂正を求められた場合は、40日以内に、訂正された原稿に訂正点を明示した手紙をつけて、前記泌尿器科紀要刊行会宛て送付すること、なお、Editor の責任において一部字句の訂正をすることがある。
5. 校正：校正は著者による責任校正とする。著者複数の場合は校正責任者を投稿時指定する。
6. 掲載：論文の掲載は採用順を原則とする。迅速掲載を希望するときは投稿時にその旨申し出ること。
 - (1) 掲載料は1ページにつき和文は5,500円、英文は6,500円、超過頁は1ページにつき7,000円、写真の製版代、凸版、トレース代、別冊、送料などは別に実費を申し受ける。
 - (2) 迅速掲載には迅速掲載料を要する。5頁以内は30,000円、6頁以上は1頁毎に10,000円を加算した額を申し受ける。
 - (3) 薬剤の効果、測定試薬の成績、治療機器の使用などに関する治験論文および学会抄録については、掲載料を別途に申し受ける。
7. 別冊：実費負担とし、著者校正時に部数を指定する。

Information for Authors Submitting Papers in English

1. Manuscripts, tables and figures must be submitted in three copies. Manuscripts should be typed double-spaced with wide margins on 8.5 by 11 inch paper. The text of all regular manuscripts should not exceed 12 typewritten pages, and that of a case report 6 pages. The abstract should not exceed 250 words and should contain no abbreviations.
2. The first page should contain the title, full names and affiliations of the authors, key words (no more than 5 words), and a running title consisting of the first author and two words.
e.g.: Yamada, et al.: Prostatic cancer · PSAP
3. The list of references should include only those publications which are cited in the text. References should not exceed 30 readily available citations. Reference should be in the form of superscript numerals and should not be arranged alphabetically.
4. The title, the names and affiliations of the authors, the director's name, and an abstract should be provided in Japanese.
5. For further details, refer to a recent journal.

編 集 後 記

先日、某病院の名誉院長が病理組織では乳癌と診断されていない症例に根治的乳房切断術を行ったという記事が、日本を代表するような大新聞の朝刊の一面トップに掲載された。この事件そのものについては、いろいろな角度から厳しく詳細に討議すべきだと思うし、ここでコメントするつもりはないが、このように大々的に報告されたことについて考えてみたい。

詳しいことは知らないが、新聞の紙面のどこに、どのくらいの大きさの活字の見出しで載せるかは、部長やデスクなどが決めるらしい。少なくともその新聞の知性を代表する位の見識をもち、またそれにふさわしい地位にある人が決定すると聞いている。彼らは読者すなわち一般市民の考えや感情を知悉しているものと考えたい。だとするとあの事件をあのように取り上げかたをすることは、日本人の一般的、平均的感覚であると言えないこともない。日本人の医療に対して持っている感情はこのようなものなのか？気の鬱ぐ思いがする。

しかし落胆していてもはじまらない。われわれ医師はいま何をなすべきか、一人一人が真剣に考えねばならない時である。



小川編集委員長の編集後記を読ませていただいた。その考えに対しても、また若々しく歯切れのいい文章に対しても敬意を表したい。これからが楽しみである。

(吉田 修)

泌尿器科紀要 第46巻 第7号 2000年7月25日 印刷 2000年7月31日 発行
 発行 小川 修 顧問 吉田 修 発行所 泌尿器科紀要刊行会
 〒606-8392 京都市左京区聖護院山王町18 メタボ岡崎301号 電話 (075) 752-0100
 FAX (075) 752-0190

印刷所 山代印刷株式会社 京都市上京区寺之内通小川西入
